

1

(1), (7) 順不同・完答

(1)	ア, イ, オ	(2)	イ	(3)	エ	(4)	16 本	(5)	りんご 鱗粉
-----	---------	-----	---	-----	---	-----	------	-----	-----------

(6)	時期 ある	育ち方 完全変態	(7)	ウ, エ	(8)	268 個
-----	----------	-------------	-----	------	-----	-------

2

(3)①, ② 各小数第1位指定 (4)①, ②, ③ 各完答

(1)	クレーター	(2)	イ	(3)①	27.3	②	29.5
-----	-------	-----	---	------	------	---	------

(4)①	名前 三日月	南中 カ	②	名前 下弦の月	南中 ウ
------	-----------	---------	---	------------	---------

(4)③	名前 満月	南中 ア	(5)①	ア	②	ウ
------	----------	---------	------	---	---	---

3

(1)	オ	(2)	イ	(3)①	130 cm ³	②	517 g
-----	---	-----	---	------	---------------------	---	-------

(4)	359 g	(5)	1112.5 cm ³	(6)	20 cm ³
-----	-------	-----	------------------------	-----	--------------------

(7)	40 cm ³	(8)	65 cm ³	(9)	イ
-----	--------------------	-----	--------------------	-----	---

4

(1)② 完答 (2) 順不同・完答

(1)①	A やく (花粉袋)	B	柱頭	C	子房
------	------------	---	----	---	----

(1)②	B エ	C ア	(2)	ウ, オ
------	-----	-----	-----	------

(3)①	10	②	6	③	15
------	----	---	---	---	----

[配点] 1~3 : 各3点×28問=84点 4 : 各2点×8問=16点 計100点

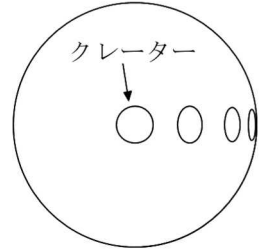
希学園 第394回 公開テスト 新小5 理科 2025年3月9日実施 解説

1

- (1) ダンゴムシ(甲かく類), ダニ(クモ類)はこん虫ではない。
 (2) ア…アゲハの幼虫 ウ…テントウムシの幼虫 エ…カイコガの幼虫
 (8) 卵を産むことができるメスは, $18 \text{匹} \times \frac{2}{3} \times \frac{1}{2} = 6 \text{匹}$ である。この6匹のメスが1608個の卵を産めばよい。
 $1608 \text{個} \div 6 = 268 \text{個}$

2

- (2) 月は球形のため, 中心近くのクレーターは円形に, 周辺部のクレーターはだ円形に見える。
 (5) 2/2~2/13…11日 2/13~2/20…7日 より, 2/2 三日月, 2/13 満月, 2/20 下弦の月とわかる。



3

- (3) ① $100\text{cm}^3 + 30\text{cm}^3 = 130\text{cm}^3$
 ② 水 $100\text{cm}^3 \cdots 100\text{g}$, 鉄 $30\text{cm}^3 \cdots 7.9\text{g} \times 30 = 237\text{g}$ なので, $180\text{g} + 100\text{g} + 237\text{g} = 517\text{g}$
 (4) 水 $180\text{cm}^3 - 10\text{cm}^3 = 170\text{cm}^3 \cdots 170\text{g}$, 銅 $10\text{cm}^3 \cdots 8.9\text{g} \times 10 = 89\text{g}$ なので, $100\text{g} + 170\text{g} + 89\text{g} = 359\text{g}$
 (5) 銅 100cm^3 の重さは, $8.9\text{g} \times 100 = 890\text{g}$ である。木 1cm^3 の重さは 0.8g なので, $890\text{g} \div 0.8\text{g} = 1112.5\text{cm}^3$ とわかる。
 (6) 木とアルミニウムを 1cm^3 ずつ用意すると, $0.8\text{g} + 2.7\text{g} = 3.5\text{g}$ になる。
 $70\text{g} \div 3.5\text{g} = 20$ より, 木とアルミニウムは 20cm^3 ずつであることがわかる。
 (7) 銅の体積を①, アルミニウムの体積を②とする。
 銅の重さ $\cdots 8.9\text{g} \times \text{①} = \text{⑧.9}$ アルミニウムの重さ $\cdots 2.7\text{g} \times \text{②} = \text{⑤.4}$ より,
 合わせた重さ $\cdots \text{⑧.9} + \text{⑤.4} = \text{⑭.3} = 286\text{g}$ なので, ① $= 20\text{cm}^3$ である。アルミニウムの体積② $= 40\text{cm}^3$
 (8) 100cm^3 がすべて鉄であれば, $7.9\text{g} \times 100 = 790\text{g}$ になる。ここでは 855g になっているので, $855\text{g} - 790\text{g} = 65\text{g}$ 増やせばよい。
 1cm^3 の鉄を銅にかえると $8.9\text{g} - 7.9\text{g} = 1\text{g}$ 重さが増えるので, 65cm^3 を鉄から銅にかえればよい。

4

- (3) ① アブラナの花びらの枚数+アブラナのおしべの本数 $= 4 + 6 = 10$
 ② エンドウの花びらの枚数+イネの子葉の枚数 $= 5 + 1 = 6$
 ③ エンドウのおしべの本数+サクラ(ソメイヨシノ)の花びらの枚数 $= 10 + 5 = 15$